



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2023.7.22 No. 003

JR東日本輸送サービス労働組合

東京支部 第5回定期大会開催

「仲間と共に」総団結でたたかい抜くぞ

組織破壊攻撃に関する特別決議を決議

分会執行委員長への強制配置転換による組織破壊攻撃を許さない！

全組合員の総団結でたたかい抜く特別決議 ~~(案)~~

7月17日、大田運輸区分会の執行委員長に対して8月1日付け東京営業統括センターへの異動の事前通知が口頭にて一方的に通告された。

分会の最高責任者である執行委員長に対する強制配置転換は全組合員への不利益取扱いであり、会社の人事権を濫用した干渉行為、労働組合の運営に対する支配介入、輸送サービス労組に対する組織破壊攻撃である。

2021年12月には田町運輸区分会の執行委員長に対しても同様に強制配置転換が行われた。東京都労働委員会での審議中にもかかわらず、繰り返し分会執行委員長への強制配置転換を平然と行うJR東日本会社の「労働組合敵視」の経営姿勢は断じて認めることはできない。

大田運輸区分会は「悪意に満ちた会社による職場と分会組織の破壊攻撃」と断定し、組合員の97%が執行委員長の異動によって組合活動に支障が出ると認識している。本日の東京支部定期大会でも各代議員から大田運輸区分会執行委員長への異動撤回を求める怒りの発言がされた。東京地本は申1号「JR東日本輸送サービス労働組合に対する支配介入を直ちに止め、大田運輸区分会執行委員長に対する東京営業統括センターへの異動の撤回を求める緊急申し入れ」を行っている。東京支部は地本交渉団を支えていくと共に、大田運輸区分会を全分会で支え、強制配置転換発令撤回までたたかい抜く決意である。

労働組合は憲法で保証されている団結権に基づき労働者が自主的に組織する団体である。そして、労働組合法第7条1号には組合員であることを理由とする解雇、その他の不利益な取扱いの禁止、3号には労働組合の運営等に対する支配介入を明確に禁止している。

輸送サービス労組を敵視し、自社内の就業規則のみで、憲法で保証された労働者の権利を害し、労働組合への支配介入、労働者の不利益取扱いを行う権利など会社には持たない。これ以上、私たちへの不利益取扱いが続くのであれば、第三者機関を活用し、私たちの権利とJR東日本会社の経営姿勢に対して社会的判断を仰ぐ。

東京支部は全ての組合員と確認する！

労働組合の最高責任者である分会執行委員長の強制配置転換は、輸送サービス労組の弱体化を目的にした、組織破壊攻撃である！

労働組合への支配介入、私たちへの不利益取扱いには一切屈しない。全組合員の総団結で、労働者の権利を守るため、たたかい抜こう！

以上、決議する。

2023年7月22日
JR東日本輸送サービス労働組合
東京地本東京支部
第5回定期大会